

板橋区子ども家庭総合支援センター開設後の状況について

板橋区子ども家庭総合支援センターは、令和4年4月1日に開設し、子ども家庭支援センター機能を移転し、継続して業務を開始した。

その後、令和4年7月1日より児童相談所設置市へ移行し、子ども家庭支援センター（市区町村子ども家庭総合支援拠点）と児童相談所の機能を併せ持つ施設として業務を開始しており、開設後の状況について、下記のとおり報告する。

記

1 子ども家庭総合支援センターの相談受付状況

- ・区民からの子どもや子育てに関する相談は支援課（子ども家庭支援センター機能）、関係機関からの児童虐待通告等は援助課（児童相談所機能）が窓口となり相談受理を行っている。
- ・新規相談受付後、支援課・援助課合同で全ケースを緊急受理会議等において、支援的要素・介入的要素を検討のうえ、役割分担を決定している。児童福祉司、児童心理司、弁護士、保健師、一時保護所職員等がケースに応じて連携し、専門的観点を踏まえて決定する援助方針に基づいて支援・援助を実施している。
- ・担当の割り振りについては、東武東上線ブロック・都営三田線ブロックに分けた地区制を導入している。職員が担当する地区を明確にすることで、当該地区の関係機関と顔が見える緊密な関係構築が可能となる。

(1) 支援課における相談受付状況（子ども家庭支援センター機能）（ ）内は、令和3年度同時期の件数

		4月～6月合計	7月～1月合計	合 計
児童虐待相談		277 件(289 件)	60 件(618 件)	337 件(907 件)
内 訳	身体的虐待	61 件(61 件)	10 件(151 件)	71 件(212 件)
	性的虐待	1 件(3 件)	1 件(2 件)	2 件(5 件)
	ネグレクト	59 件(48 件)	30 件(109 件)	89 件(157 件)
	心理的虐待	156 件(177 件)	19 件(356 件)	175 件(533 件)
養護相談(虐待相談除く)		199 件(63 件)	416 件(331 件)	615 件(394 件)
障がい関係相談		10 件(6 件)	23 件(16 件)	33 件(22 件)
非行相談		3 件(2 件)	5 件(6 件)	8 件(8 件)
育成相談		102 件(22 件)	185 件(111 件)	287 件(133 件)
その他		59 件(3 件)	106 件(54 件)	165 件(57 件)
合 計		650 件(385 件)	795 件(1,136 件)	1,445 件(1,521 件)

※児童相談所機能開始前の4～6月と開始後の7月以降で集計した

※令和4年度の件数は速報値のため修正が入る場合がある

(2) 援助課における相談受付状況(児童相談所機能)

		7月～1月の合計
児童虐待相談		829 件
内 訳	身体的虐待	204 件
	性的虐待	5 件
	ネグレクト	122 件
	心理的虐待	498 件
	養護相談(虐待相談除く)	107 件
障がい関係相談★ ¹		280 件
非行相談		47 件
育成相談		31 件
その他の相談		61 件
合 計		1,355 件

★1…愛の手帳の判定による相談が大半を占める
 ※令和4年7月以降、関係機関から相談や通告を受けた件数を集計した
 ※令和4年度の件数は速報値のため修正が入る場合がある

(3) 月ごとの新規一時保護児童数

	総数	内 訳		総数のうち 警察からの 身柄付通告※ ²
		板橋区一時保護所	一時保護委託※ ¹	
参考		—	北児相から引継ぎ 14 件	—
7 月	30 件	25 件	5 件	10 件
8 月	8 件	6 件	2 件	2 件
9 月	17 件	16 件	1 件	10 件
10 月	13 件	11 件	2 件	6 件
11 月	20 件	15 件	5 件	6 件
12 月	12 件	10 件	2 件	6 件
1 月	21 件	17 件	4 件	8 件
合計	121 件	100 件	21 件	48 件

※1…一時保護所以外に、里親や児童養護施設、病院等に一時保護の委託をするもの

※2…警察が児童相談所による一時保護が必要と判断し、身柄(子ども)とともに通告をするもの

(4) 令和4年度の傾向

- ・虐待通告の相談経路として、最も多いのは警察となっており、夫婦間の暴力やケンカを子どもが目撃することによる心理的虐待の割合が高くなっている。
- ・子ども家庭総合支援センターが開設し、児童相談所機能を担ったことにより、区内小中学校や保育園からの通告への対応や、区健康福祉センターとの特定妊婦に関する情報共有・対応がより迅速に出来るようになった。また、地理的な近さやアクセスの良さもあり、子ども自ら相談に訪れることが増えた。
- ・一時保護した児童のうち、中高生年齢の人数が増えているが、親子関係の不調から保護者が引き取りを拒否するうえ、入所施設やサポート機関に限られる事例も少なくないため、対応に苦慮している。

2 社会的養護施設等への措置等について

(1)措置児童数

措置児童数(令和5年1月末現在)		208 件
施設等内訳	児童養護施設	137 件
	乳児院	19 件
	里親(うち、ファミリーホーム)	19(1) 件
	児童自立支援施設	9 件
	障害児施設入所	22 件
	自立援助ホーム	2 件

・児童相談所業務が開始するまでの期間(4月～6月)、児童福祉司・児童心理司を東京都北児童相談所へ派遣し、ケースの引継ぎを行ってきた。7月1日の業務開始後も引き続き、担当児童福祉司等が施設等への訪問等により面会の機会を大切にしながら業務にあたっている。

(2)里親の認定・登録家庭状況

里親家庭登録数(令和5年1月末現在)		44 家庭
内訳	養育家庭	21 家庭
	養子縁組里親	20 家庭
	専門養育家庭	2 家庭
	親族里親	1 家庭

※養子縁組里親と養育家庭の二重登録は、それぞれに1件ずつ計上

・フォスティング機関と連携しながら、里親家庭への包括的な支援や普及啓発活動等を行っているとともに、東京都と児童相談所設置区の里親担当者による定期的な会議等における情報共有等を通じ、広域的な連携と里親制度の普及啓発を図っている。今後も、広域的な連携のもと、里親家庭の新規開拓や里親支援に向けた取組を推進していく。

3 家庭裁判所への申立ケース等について(令和5年2月末現在)

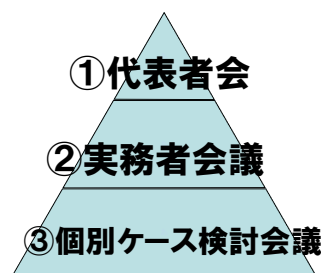
28条	申立件数	5 件
	承認件数	2 件
	更新件数	0 件
33条	申立件数	0 件
	承認件数	0 件
	更新件数	0 件
立入調査件数		0 件
親権停止件数		1 件

※28条…施設等への入所措置

※33条…2か月以上の親権者等の意に反する一時保護

4 要保護児童対策地域協議会について

・要保護児童対策地域協議会の機能拡充を図るため、支援課に地域連携推進係を設置した。個人情報保護のもと「要保護児童等」に関する情報共有及び支援内容について、三層構造からなる会議体で協議を実施している。(右図参照)



・令和4年度は、昨年度実施していた集合型の実務者会議に加え、新たな取組として、訪問型としてアウトリーチ(関係機関訪問)を実施し、3か月に1回の見守り体制を構築した。

① アウトリーチ(関係機関訪問)概要

学校、保育園などの関係機関へ訪問し、所属の支援対象児童について、直近の状況をヒアリングするとともに、所属に潜在している被虐待児童等の掘り起こしを行った。また、子ども家庭総合支援センター開設に伴い刷新した「板橋区子ども家庭支援指針(板橋区児童虐待防止対応ガイドライン)」について周知・啓発し、児童虐待等の初動対応の流れ等の共有を行った。

② 対象施設

区立小学校、中学校、あいキッズ、区立・私立保育園、区立・私立幼稚園、児童館等(約 330 機関)

会議名	回数	開催月
代表者会議	2回	第1回:6月27日(月) 第2回:2月7日(火)
実務者会議	前期 22 回・後期 22 回 (中学校区ごとで実施)	前期 7月～9月(実施済) 後期 1月～3月(実施中)
関係機関訪問(アウトリーチ)	各関係機関へ訪問し情報共有 (約 330 機関)	10 月～12 月
個別ケース検討会議	79 回(令和5年2月末現在)	年間通じて実施

5 子どもの権利擁護の取組みについて

(1)子どもの意見表明支援(子どもアドボケイト)

・ 概要

行政機関から一定の独立性を持ち、児童の立場に立って、子どもの意見表明を支援する。一般社団法人「子どもの声からはじめよう」と覚書を締結し、子どもアドボケイトの派遣を受けて事業を実施する。

・ 主な業務内容

①定期訪問アドボカシー

原則として、隔週土曜日の午前 11 時から午後3時に、子どもアドボケイトが一時保護所を訪問し、入所中の児童の意見を聴取するとともに、児童の生活等に関して、権利擁護及び福祉サービスの向上の視点から、一時保護所に対して提案を行う。

②個別訪問アドボカシー

児童相談所の支援に関わる全ての児童を対象に、意見を表明したい旨の申出があった際に、区の指示を受けて、子どもアドボケイトが施設等に訪問し、児童の意見を聴取する。

- ・ 令和4年度活動実績(令和5年2月末現在)

①定期訪問アドボカシー

実施日	アドボケイト 参加人数	意見表明 件数	その他面談 件数	備考
7月16日	7人	0件	0件	
7月30日	2人	3件	0件	新型コロナ感染拡大防止のため縮小実施
8月13日	—	—	—	新型コロナ感染拡大防止のため中止
8月20日	2人	1件	0件	新型コロナ感染拡大防止のため縮小実施
9月17日	6人	0件	0件	
9月24日	—	—	—	台風接近のため中止
10月8日	6人	1件	0件	
10月22日	5人	1件	1件	
11月5日	6人	2件	1件	
11月19日	6人	0件	0件	
12月3日	5人	5件	2件	
12月17日	5人	3件	6件	
1月7日	6人	4件	2件	
1月14日	6人	2件	7件	
1月28日	7人	6件	2件	
2月11日	7人	5件	12件	
2月25日	7人	2件	4件	
合計	83人	35件	37件	

②個別訪問アドボカシー:0回

(2)被措置児童等虐待の調査(子どもの権利擁護調査員)

・ 概要

被措置児童等虐待が発生した場合等、第三者の公正中立な立場から関係機関の調査を行い、児童福祉審議会に報告を行う。板橋法曹会から弁護士1名、東京社会福祉士会から社会福祉士1名の推薦を受けて事業を実施する。

・ 主な業務内容

被措置児童等虐待が発生した場合等、区の指示を受けて、子どもの権利擁護調査員が、区職員とともに児童福祉施設等に訪問し、児童・職員への聴き取り等の調査を実施する。

- ・ 令和4年度活動実績(令和5年2月末現在)

区内児童福祉施設:2回